

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 1830

エポニックス#20中塗

1. 一般名 エポキシ樹脂中塗塗料 厚膜形
 2. 規格 社内規格
 3. 特徴
 1) 耐酸性、耐アルカリ性等の耐薬品性及びガソリン、灯油等の耐油性にすぐれている。
 2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。
 3) エアレス塗装時の作業性にすぐれ厚塗り塗装が可能である。

4. 塗料性状

項目	内容					
容姿	2液性					
荷姿	4kgセット(主剤:3.4kg、硬化剤:0.6kg) 20kgセット(主剤:17kg、硬化剤:3kg)					
色相	白、各色					
光沢	5分つや					
密度 (23°C)	塗料	1.37 (白)				
	揮発分	0.87				
加熱残分	68% (白)					
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	2時間	2時間	1.5時間	1時間	30分
	半硬化	24時間	16時間	8時間	6時間	5時間
標準膜厚	100μm					
引火点	SDS参照					
発火点	SDS参照					
爆発限界(下限~上限)	SDS参照					

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目	内容				
下地処理	—				
調合法	主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)				
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	12時間	10時間	6時間	4時間	2時間
使用シンナー	エポニックスシンナーB 及び同夏型、同真夏型				
塗装方法	塗装方法	刷毛塗り		エアレス塗装	
	希釈率	3~10%		3~10%	
	標準使用量	0.18 kg/m ²		0.47 kg/m ²	
	標準膜厚	50μm		100μm	
	ウェット管理膜厚	125μm		225μm	
エアレス塗装条件	1次圧0.4MPa(4kg/cm ²)以上 2次圧12MPa(120kg/cm ²)以上 チップNo.163-515~715				
塗装間隔	温度	5°C	20°C	30°C	40°C
	最小	48時間	24時間	15時間	8時間
	最大	14日	7日	7日	5日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

6. 施工上の注意

- 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終わるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- 希釈には必ずエポニックスシンナーB、同夏型、同真夏型のいずれかを使用すること。
- 塗装終了後の使用機器は直ちにシンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。